

特定非営利活動法人イマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



イマジン通信

Vol.65



新規グループホームの建設が始まりました♪

いよいよ、待ちに待ったグループホームの建設が始まりました。イマジンとしては「いよいよ雨やどり」に続く2期工事となります。

去る、9/3(水)に地鎮祭・起工式を執り行いました。前日までの雨風はどうしたのか?というほどの好天気恵まれ、参列者の方々は口々に「日ごろの行ないだね〜♪」と笑顔でご出席くださいました。秋晴れというには暑い日になりましたが、爽やかな青空のもとで宮司さんの厳かな声が響く中、建設工事が安全に行われることを祈願し、ここまでご協力いただいた多くの方への感謝の思いでいっぱいになりました。

今回建設するグループホームは、鉄骨2階建て。8人のグループホームを2ユニットで16名にショートステイを設置する予定です。現在のコンセプトとしては、1階は車いす生活者や歩行が困難な方を中心として特に女性。2階は、歩行が自力で不自由なくできる男性。とを考えています。



しかし、女性の入居希望者が少ない場合には男性の入居も考えていきます。『入居者がいて家がある』というイマジンのこれまでの考え方は何ら変わっていません。これから、入居希望者の中から共同生活が可能なメンバーを今年中には選ばせていただき、入居者が生活しやすい“家”にしていきます。

また、今回のグループホームは「そろそろ雨やどり」の移転計画でもあることから、転居してくる方との兼ね合いも考えなくてはなりません。これらのことを加味してグループホームの入居者やショートステイの人数を決めていきますので、決まり次第、通信でお知らせしますね。

ここまでは、建物の設計、土地の購入や銀行からの融資、土地を利用するまでの手続き、農地を宅地にする手続きと建設実施に向けた活動が多く、皆さんの見えないところで計画が動いていました。本当に多くの方の協力がなくては土地の取得や建物の建設着工まで辿り着かないことを痛感しました。イマジンの事業計画が実行できないだけでなく、入居を希望している方やそのご家族の人生設計が変わってきます。ここまでの間に身体の状態が変わられた方、家族構成が変わり事情が変わられた方、学生だった方が成人になり、頼りにしていたご家族が無くなった方もいます。本当に“人生”と共に実施している事業です。これは職員にも言えます。独身だった方が結婚をし、頼りにしていた方が辞められ、新しい元気な方が加わってきます。宿直もあり、入居者と寝泊りを繰り返しながら自然と入居者のことに気を配るようになります。

グループホームでの支援は「先のことは分からない」と言いたくなるくらい長い時間・年月、将来を見据えた現在への支援です。入居者は長い年月をグループホームで暮らしていきます。私たちは、彼らの毎日を共に歩み、見つけ、不都合や不利益にならないように考え、出来る限りの支援をしていくのです。本当にあらゆる方々の“人生”を共有し、継続していかなくてはならない事業なのです。

だからこそ、みんなが笑顔で生活できるグループホームでなくてはならないと思います。入居者もご家族も支援者もです。

ここからは、実際に建設が始まります。既に土地の造成工事は着手され、今まで田んぼだった、いよいよ雨やどりの隣の土地が土で埋められ地続きになっています。進入路が出来てきて実際の形が出来てきます。実感が湧くだけでなく、実際に“見える”と感動します。工事現場を見てワクワクするのは男性だからでしょうか?これから基礎工事をして、柱が立ち、段々と“家”らしくなってくる・・・と想像するとワクワクします。

見るたびに変わっていく現場に「スゴいなあ」と毎回つぶやいています。ふと後ろを振り返るとついつい雨やどりの居室から工事の様子を監視している現場監督さんたちがスズメのように並んでいます(笑)彼らにはどう映っているのかな?

これからは建物の工事に入っていきます。地域の方も散歩の途中で足を止め「何か作ってるなあ」と見ていかれることでしょうか。通りかかる車からでも見る事ができます。

静岡空港にお越しの際や湯田方面にお越しの際は、是非、グループホームの建設現場を見て実感してほしいと思います。もちろん、工事の邪魔にならない範囲で安全に見ていただくね。彼ら彼女らの新しい“家”が出来てきますよ♪(担当 澤島)





新規グループホーム入居希望者説明会を開催しました♪

10/7(火)に「新規グループホーム入居希望者説明会」を行い、参加者60名という大変大人数の参加をいただきました。今回は、当事者の参加やご両親そろっての参加という姿が多く見られ、意識の高さ・関心の高さが窺えました。

現在建設中のグループホームへの入居希望の方、今後グループホームの入居希望の方、今後の為に話を聞きたい方と多様な方が参加くださったので、まずはグループホームについての制度的なこと、イマジンの体制的なことを簡単に説明をさせていただいた後に新規グループホームの概要を説明させていただきました。

質疑応答では、たくさんのご質問が出ましたので改めてご紹介すると共に説明しきれなかった部分やあの場だけでは理解できなかった部分もあると思いますので説明させていただきます。



Q1. 通所施設に行けなくなったらどうするのか？

A1. 通所施設だけでなく、就職をしている人も日中活動先が無くなった場合には、まずは別の日中活動を探します。別の施設や別の就職先の場合もあれば、その時ご本人の状態と必要な日中の過ごし方を考えて日中活動は選ぶべきです。

但し、通所できなくなった理由にもよりますが、受け入れ困難となるケースもあると思いますのでイマジン自体でも通所施設を作っていく方法になると思います。

Q2. 今の自宅からなら通院も通所もできるが、入居となり居住地が変わった場合に一人で通院・通所ができるように指導はしてもらえるか？

A2. グループホームでは、ご本人に付き添った訓練はしていません。説明や下見などに行くことはあっても、一緒に移動しての指導や見守りはしていません。通院であれば、居宅介護の通院介助を利用してもらいます。但し、「定期受診の病院を月に2回」と決められているので突発な通院や見守り・看病については世話人が対応します。移動の訓練は利用できる支援がありませんが、移動支援等のヘルパーの利用の仕方での外出行為の中で最寄りのバス停から駅への移動や危険箇所を安全に移動できているかはヘルパーが確認することが出来ると思います。また、繰り返し外出を重ねることでご本人も慣れて来るとも考えられます。

世話人もヘルパーも“指導員”ではありません。“支援者”です。

親御さんは「ひとりで行ける」とお話しくださる場合が多々ありますが、通院は特に医療機関に正しくご本人の状態を伝えなくてはならない場合がありますので、必要に応じてヘルパーの支援を受けていただくことにしています。

Q3. 入居者は、同じ障害の人でまとめるのか？

A3. 入居希望者のご意見を聞いて決めます。入居が可能ならば他の障害の方との同居も有りだと思います。現に「そろそろ雨やどり」は知的と精神の障害の方が同居しています。また、自閉症だけ、重症心身障害だけ…というグループホームがあってもいいと思います。一緒に生活できるのならば同居も有りです。また、仕事にバリバリ行くような元気な入居者だけのグループホーム、のんびり暮らしたい人だけのグループホーム、これは理想ですが、ご本人が希望すればいろいろなグループホームの形があってもいいと思います。全ては入居者次第です。

入居後もご本人たちは年齢を重ね、一人ひとりのペースで加齢していきます。入居時と入居後では環境を変えなくてはならない、場合によっては別のグループホームで生活しなくてはならない状態になります。グループホームはたくさん無いといろいろな人に対応できなくなりつつあります。今回建設のグループホームの1階を車いす生活者や歩行が困難な方を中心としたのも、ここに理由があります。

建設の関係もありますので、イマジンでも基本構想は練りますが最終的には入居者に合わせて決めていきます。皆さんも『どのようなグループホーム』に住みたいですか？お考えください。そして、ご意見をお聞かせくださいね♪



Q4. 現在、別のグループホームに入居しているが同じように週末は帰ってくるのか？帰ってくると月曜日に気持ち作れず、通所に行けない。

A4. 現在生活している“実家”への帰省はできます。しかし、このようにご本人の生活が乱れてしまったり負担が大きくなることが考えられる場合はグループホームでの生活がご本人に定着するまでは帰省を制限します。理由も根拠も無く「会えなくなる」「合わせてもらえない」ということはありません。

ご本人の生活を一番に考えますので、ご家族の思いは申し訳ありませんがその次とさせていただきます。

グループホームは、ご本人にとって“家”となります。ご家族が会いに来られるのもいいと思いますよ。一緒に出掛けて帰ってくる場所です。訪問される場合には、一報いただきたいと思います。ご本人の“家”で



A4. あると共に、他にも“同居者”がいます。ご家族にとっては堅苦しくなりますが入居者の家であって、ご家族の家ではありませんのでご理解をお願いします。
また、週末を必ず返すという決まりも作っていません。ご本人が「帰りたい」と希望され、帰ることが可能であり、ご本人に悪い影響が無ければ安心して帰省します。

Q5. 寄付金やグループホームへの出資金などは必要ですか？お金を出せば建ててくれますか？

A5. 寄付金は歓迎です。銀行からの融資だけを頼りに進めていくだけではグループホームは増えません。次の建設までに時間が掛かります。

イマジンがグループホーム事業を開始した平成20年頃は賃貸が主体でしたが、現在までの間に火災による事故や震災などもあり、建物への条件が厳しくなっています。

グループホームは『寄宿舍』という建物になります。当然、一般家屋やアパートなどの共同住宅とは建物の建築基準が異なります。賃貸で一般住宅やアパートを利用した場合には、建物の用途を寄宿舍に変更しなくてはなりません。しかし、建築基準が当然違うので基準に合わせるための工事が必要になります。建物の基本的な構造への手直しは出来ませんので、ほとんどの場合が不可能となります。建設する以上の多額の工事をするのも考えられません。

消防法も関係してきます。賃貸のアパートの場合でも火災通報装置やスプリンクラーの設置などは法令で決められています。しかし、これらは建物に対してですのでグループホーム以外の住人の部屋にも同様に設備を設置しなくてはなりません。つまり、建物の建築基準をクリアしても消防の法令をクリアしなくては出来ないこととなります。一般のアパート暮らしをしている住人に協力してもらわなくてはなりません。当然、家主さんの同意のもとに建物自体をグループホーム化していくのです。賃貸ですから永遠に住むとは限りません。これも不可能に近い話ですね。

現時点では、グループホームは全ての基準に合った建物を探して借りるか建設するしか方法が無いこととなります。建設が現実的な選択肢になります。

寄付金は積極的にお受けします♪ご本人の“家”の為に寄付をお願いします。

出資金とありますが寄付金としてお受けします。ご本人入居の為に投資するという意味でしょうが、数名の方で話をまとめられても、入居後の加齢や様々な理由で“その建物”に住めるとは限りません。また、「私たちが建てた」といった意識が強いとトラブルの元でもあります。入居者はイマジンで選考させていただきます。

また、実際にはお金は出せないが入居の必要がある方、入居の希望がある方もいらっしゃいます。「イマジンと共に建てていこう」そして、そこで幸せに暮らしていきたい（暮らして行って欲しい）という思いの出資金をお願いします。もちろん、寄付金として出資される方々が同居できる状況であれば入居者の調整もいりませんので実施に向けてスムーズに計画を進めることが出来ると思います。

どちらにしても、建設を前提とした事業計画になりますのでイマジンとしてはたくさんのお金が必要になります。銀行からの融資も“借金”ですから無い方がより良い経営がし易くなります。入居される方々の安心と安全につながります。障害基礎年金を蓄えている方、ご家族がご本人の為に蓄えられた方など将来の為に蓄えられたお金を是非、寄付金としてご協力いただきたいと思います。



これらの他にも生活に関わることやイマジンの体制・考え方や姿勢などへの質問をいただきました。それぞれが不安を抱え、グループホームに期待と関心を示しているのが表情からひしひしと伝わってきました。説明会後の入居希望用紙では34名の方がグループホームへの入居を希望し、今回建設するグループホームへの入居を希望する方が21名いらっしゃいました。入居者の選考が大変そうです・・

グループホームは、建設費用や補助金・助成金などのお金のことが注目を浴びることが多いですが、本当に考え、注目すべきは『生活する期間の長さ』です。“親亡き後の生活”は誰しもが心配する大きなテーマです。健康者であっても“老後”は考えなくてはなりません。真剣に、前向きに、そして積極的に協力し合わなくては実現・実施は困難な事業なのです。皆さんのご協力をお願いします。（担当 澤島）

◆◆ ご寄付のご協力をお願いします。 ◆◆

イマジンでは、障害を持つ方も、そのご家族も、この地域に安心して暮らしていくために地域生活を支援していきます。グループホームを始めとして建設費用や運営費用が多く必要となります。是非、イマジンの活動趣旨にご理解を頂き、皆様のご寄付のご協力をお願いします。

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771 ※ お振り込みの際、氏名のご記入をお願いいたします。
特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通





平成26年度 正会員の募集をしています！

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。NPO法人にとって正会員は必要不可欠な存在です。本当にありがとうございます。

平成26年度の正会員の募集をしています。年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても、下記口座まで振り込まれても結構です。また、イマジンのサービスを利用されている方は引き落としも可能ですのでお申し付けください。イマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。

☆市川鉄也 ☆太田好美 ☆掛本さえ子 ☆永井孝次郎 ☆長倉 保 ☆成瀬昭彦
 ☆西川和宏 ☆萩原とも子 ☆原田君江 ☆増田 馨 ☆村上暢彦 ☆森西春雄
 ☆山村勝一 ☆横山登喜雄 ☆渡邊広記

【年会費】正会員 5,000円 ・ 賛助会員(個人) 1,000円 ・ 賛助会員(団体) 20,000円

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771
 特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通



◆◆ 小林壮介君 陶芸作品展 ◆◆

毎回好評をいただいている「小林壮介君 陶芸作品展」をまたまた開催しま〜す。「行けなかった〜」という方は是非お見逃しなくお越しください。今回も壮介君の実演を予定しています。もちろん、展示作品の即売もしま〜す♪

壮介君のアニマルワールドをご堪能ください。皆さんもご都合をつけて、是非、遊びに来てくださいね♪



日 時 平成26年 10月25日(土)、26(日) 午前10時～午後4時
 場 所 島田市地域交流センター歩歩路 第4会議室

◆◆ アート・オブ・ハート ◆◆

島田市在住の障害者の絵画、陶芸、書などを島田博物館で展示します。我らが小林壮介君を始めとして、イマジンが支援している方々の作品ばかりです。なかなか、皆さんに見ていただける機会もありませんでしたので、とても楽しみです。長い期間の展示となりますので、皆さん一度はお足をお運びください。

日 時 平成26年 11月8日(土)～平成27年 1月12日(月) 午前9時～午後5時
 場 所 島田市博物館(島田市河原町)
 入場料 一般 300円、中学生以下は無料

◆◆ 湯日ふれあいまつり ◆◆

今年も手羽先の販売の模擬店を出店しま〜す。元気市やイベント等で好評となってきた『イマジンの手羽先』毎回完売になってしまいます♪皆さん、早い時間に来ないと売り切れちゃいますよ♪静岡空港入口の交差点、左側にある公園です。駐車場もありますので、是非お立ち寄りください♪

日 時 平成26年 11月16日(日) 午前9時～午後2時
 場 所 しろやま公園(島田市湯日)

【連絡先】 特定非営利活動法人 イマジン

障害者支援センターイマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20
 TEL 0547-34-3370 FAX 0547-34-3371
 e-mail imagine@za.tnc.ne.jp
<http://www3.tokai.or.jp/imagine/>

初倉事務所(つつい雨やどり隣)

〒427-0113 静岡県島田市湯日1-1
 TEL / FAX 0547-30-4117
 e-mail npo-imagine@cy.tnc.ne.jp

